

◎南无仏塔(県指定文化財)

善来地 巻末地図 A-4

鎌倉時代から戦国時代にかけて、追善や供養を目的に造った塔婆で、仏を表す梵字または仏像、造立年月日、被供養者名などが刻まれています。関東地方に多く、そのほとんどに秩父産の青石(緑泥片岩)が使われています。木売地



区の清浄寺にあるものは、青石に「南無仏」と刻まれた禅宗風のもので、その特徴ある書風は、正安元(1299)年に渡来した宋僧で書家としても知られる一山一寧のものといわれています。

◎西念法師塔(県指定文化財)

善来地 巻末地図 A-4



西念は、浄土真宗の開祖親鸞の二十四輩(数多い門弟のうちの24人の高弟)の一人で、親鸞に従って東国へ下向し武蔵・常陸国などで共に布教を行いました。この西念がこの地に開いたといわれるのが、

清浄寺です。境内の一角にたたずむ西念法師の塔は、六角形の塔身の上に六角形の笠を乗せる石塔として非常に珍しい様式で、鎌倉時代のこの種の石造物としては県内唯一のものです。

悠久の時を刻む
文化財

原始・古代から連綿と人の営みが続いてきた吉川市には、それぞれの時代に独特の文化を花開いてきました。今、それらの遺産を目にするとき、先人たちの知恵や信仰の深さに感嘆せずにはいられません。ここでは、いにしえの吉川を物語る市の貴重な文化財を紹介します。

Cultural Treasures
Measuring the Passage of Time

From ancient, primeval times, there has been an unbroken line of people thriving in the Yoshikawa region, and a unique culture blossomed in every era. Today, when looking back on the legacy of those who went before us, one cannot be unmoved by the depth of their knowledge and faith. Here we will introduce the valuable cultural assets that tell the story of Yoshikawa's ancient dreams.

◎定勝寺銅鐘(県指定文化財)

善来地 巻末地図 B-4



三輪野江地区にある定勝寺は、江戸初期の利根川付け替えの際、その支流(現在の利根川)の流路にあたることから、現在地に移動してきました。寛文9(1669)年に製作された銅鐘には、「二郷半領」の由来などが刻まれ、吉川周辺の歴史を知る上でも貴重なものです。また、刻まれている漢詩は、江戸の儒学者・林羅山の三男で儒学者の林鷲峰によるものです。

◎密蔵院イチョウ(県指定文化財)

善来地 巻末地図 A-4

高久地区にある密蔵院の境内にあるイチョウ。中川左岸の自然堤防上に位置し、高さ約29m、太さ約5.4m。雌木としては珍しい巨木として、県指定文化財の天然記念物に指定されています。本尊の地藏菩薩像が「子育て安産の地藏尊」として広く信仰されているところから、別名「子育てイチョウ」として親しまれています。



◎吉川市のオビシヤ

(県選択無形民俗文化財・市指定無形民俗文化財) 善来地 巻末地図 A-3・4

オビシヤ(御歩射)とは、弓矢的を射ることで、五穀豊穡や無病息災を祈念する行事です。吉川市は県内でもオビシヤが盛んな街で、市内各地でこの伝統行事が続けられています。なかでも、木売、高富、高久の三地区の行事はあられを投げ合うユニークなもので、本吉川香取神社の弓取式とともに、県の選択無形民俗文化財になっています。



本吉川香取神社弓取式